プログラミング
ユーザーマニュアル

Ver1.3.2

初めにお読み下さい

この度はバーコードスキャナーのお買い上げありがとうございました。この設定プログラミングガイドは 、設定変更をする時のみ必要で、通常の使用は初期設定（購入時の設定）でお使い頂けます。
（設定を変更する必要は有りません）
また、ご使用にあたり不都合、不具合、不明な点等ございましたらプログラミングガイド巻末の「困ったときは」を参照して下さい。
なお解決しない場合には販売店または弊社までご連絡ください 。
故障修理の際には製品保証書が必要になります。
保証規定に基づき保証致します。
保証書の提示が無い場合は保証期間内であっても有償修理になりますので大切に保管してください。
＊修理の際には事前にご連絡下さい。

取り扱い上の注意事項

- スキャナーを焼却処分しないでください
- 直射日光が当たる場所、熱を発する場所に置かないでください
- スキャナーを湿度が高い場所に保管しないで下さい
- スキャナーをぶつけたり落としたりしないで下さい
- 分解しないで下さい

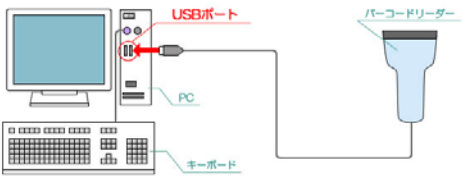
接続方法

USB の場合

USB ポートに接続するだけでご利用いただけます。

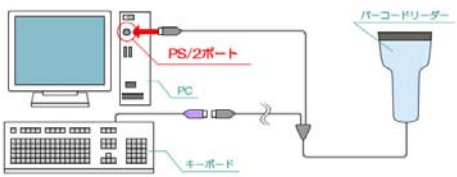
（USB から電源供給されます）

＊USB ハブを使用した場合、使用できない場合がございます。

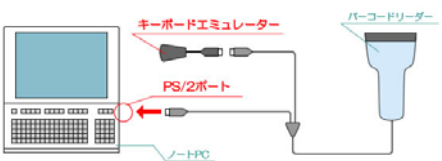


PS2 の場合(USB 接続とは異なります)

PC とキーボードの間に中継するように接続します。



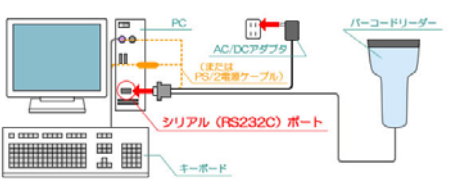
ノート PC の PS2 接続の場合、キーボードエミュレータが必要です。



RS-232C の場合(USB 接続とは異なります)

PC のシリアルポート(RS232C　9 ピン)に接続します。

スキャナーには外部電源(AC)アダプタ)を接続します。



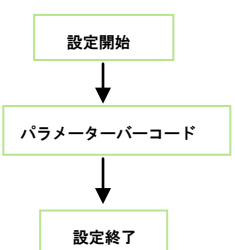
このマニュアルは、設定変更の方法を説明します。
バーコードスキャナーは工場出荷時に最も一般的な設定が登録されており、変更が必要な場合はパラメーターバーコードをスキャンすることで変更できます。

1.1　バーコードスキャナーの設定を変更する
(1)　設定開始をスキャン
(2)　設定変更したいパラメーターバーコードをスキャン
(3)　設定終了をスキャンし、プログラムを終了する

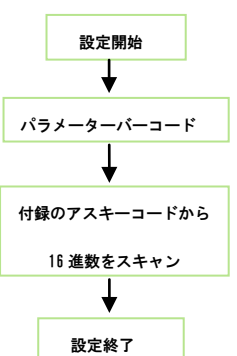
1.2 バーコードスキャナーの設定を初期値に戻す
(1)　設定開始をスキャン
(2)　P5 デフォルトに戻すをスキャン
(3)　設定終了をスキャンし、プログラムを終了する

読取成功ビープ音
設定開始: ピーッピ(2 回)
パラメーターバーコード: ピッ(1 回)
設定終了: ピーピピッ(3 回)
読取失敗時: プッ(1 回)※
※読取成功ビープ音に比べ音調が低くなっています。
うまく読取ができない場合は、読取の際の距離を調節しながらスキャンして下さい。
※<>で表示された項目はデフォルト設定を示しています。
設定変更する際、以下のフローチャートを参考に設定バーコードをスキャンして下さい。

【選択タイプのタイプ】



【数字入力が必要なタイプ】
（バーコードの下に付録があるタイプ）



設定開始

Chap.1 システム情報

デフォルトに戻す

ファームウェアのバージョン情報

Chap.2 システム設定

2.1 インターフェース選択

他の接続方法から(USB へ)変更した場合、接続方法に合わせて(USB)パラメーターバーコードをスキャンし、プラグの挿し直しをする必要があります。

PS/2

RS-232

<USB>

※USB-COMは、P.46のバーコードを使用して下さい

2.2.1 キーボード言語

アメリカ

<日本>

設定終了

設定開始

2.2.2 キーボードウェッジ

ファンクションキーエミュレーション

<OFF>

ON

KB エミュレーション
(PS/2 接続のみ)

<OFF>

ON

ALT モード

(キーボードの"Caps Lock"の影響を受けずに入力できます。)

<OFF>

ON

※ALT モードはご使用のアプリケーションによって正しく動作しない場合がございます。

キャピタルロック

<OFF>

ON

数字の送信方法

<通常ﾃﾞｰﾀとして送信>

キーパッドﾃﾞｰﾀとして送信

設定終了

設定開始

2.2.3 文字間遅延 (初期値：00)

付録 (00-64)

2.2.4 メッセージ間遅延 (初期値：00)

付録 (00-32)

遅延時間=set up data*100(ms)

2.2.5 改行コード

なし

<CR>

Tab

ESC

設定終了

設定開始

2.3.1 RS-232 設定

【USB 接続の場合は使用不可】

（USB 接続の場合は使用しません）

ボーレート

4800

2400

19200

<9600>

38400

データビット

【USB 接続の場合は使用不可】

7

<8>

ストップビット

<1>

2

パリティ

<なし>

Odd

Even

Mark

設定終了

設定開始

2.3.2 RS232 改行コード設定

【USB 接続の場合は使用不可】

なし

<CR+LF>

CR

LF

TAB

STX/ETX

EOT

文字間遅延

【USB 接続の場合は使用不可】

(初期値：00)

付録（00-64）

遅延時間=set up data*100(ms)

ハンドシェイキングプロトコルディレイ

付録（00-0A）

ハンドシェイキングプロトコル

【USB 接続の場合は使用不可】

<なし>

RTS/CTS

ACK/NAK

Xon/Xoff

設定終了

設定開始

2.4 スキャンモード

制限時間を設定する場合、以下の手順を行います。

1. “連続読込/時間制限”のバーコードをスキャン
2. P36 付録-アスキーコードから２文字をスキャン
3. 設定終了をスキャンし、設定手順は終了です。
   設定単位は秒です。
   例： 10 秒→07
   30 秒→1a
   1 分→38
   2 分→72
   2 分 30 秒→8F

トリガーオン・オフ

連続読込/トリガーを押すとオフ

エイムモード/
トリガーを押すとスキャン

フラッシュ/トリガー無効
（レーザー使用禁止）

<トリガーオン/読込完了
または一定時間でオフ>

検証用（高速連続読込）

連続読込/時間制限

連続読込/
通電と同時に LED 点灯
トリガー使用しない

設定終了

設定開始

2.5 ビープ音設定

読取音の音調と長さを調整することができます。
他に起動音と読取音をオン/オフに設定することができます。
※機種により読取音の音調/長さ/設定範囲が異なります。

読取音の音調

付録(00-0C)

読取音の長さ

付録(00-0C)

起動音（オン/オフ）

<ON>

OFF

読取音（オン/オフ）

<ON>

OFF

設定終了

2.6 キャラクタ挿入設定

バーコードデータの先頭と末尾の文字の付加
バーコードのデータの先頭と末尾に最大 10 文字まで出力データを挿入することができます。
先頭と末尾に文字入力の必要がない場合は、“00”を入力してください。
(“デフォルトに戻す”でも可)

プリアンブル文字	バーコード	ポストアンブル文字

バーコードに先頭と末尾の文字を追加する方法
1. ″設定開始″と″プレアンブル文字（先頭の場合）″のバーコードをスキャンします。
2. P37 アスキーテーブル、または P38 ファンクションキーテーブルから付加したい文字を探します。（例：A の場合 4 と 1）
3. P36 付録-アスキーコードをスキャンします。
4. ″設定終了″のバーコードをスキャンします。

※ファンクションキーテーブル表の文字を挿入する場合は、挿入設定をする前に P.6 ファンクションキーエミュレーションを ON にして下さい。

バーコード間またはバーコード規格別で文字を付加（2 種類登録可能 G1,G2）
バーコードデータを挿入したい位置に最大 10 文字を置くことができます。(複数の場所は不可)
先頭と末尾に文字入力の必要がない場合は、“00”を入力してください。
(“デフォルトに戻す”でも可)
挿入文字を設定します。
1. ″設定開始″と″G1(G2)挿入文字設定″のバーコードをスキャンします。
2. P37 アスキーテーブル、または P38 ファンクションキーテーブルから付加したい文字を探します。（例：A の場合 4 と 1）
3. P36 付録-アスキーコードをスキャンします。
4. ″設定終了″のバーコードをスキャンします。

設定開始

文字挿入場所の決定（2 種類登録可能 G1, G2）
バーコードへ挿入する桁数を選んでください。
デフォルト値は先頭に文字が付加されます。

1. ″設定開始″と″G1(G2)文字挿入箇所″のバーコードをスキャンします。
2. 文字の挿入箇所に合わせて P36 付録-アスキーコードをスキャンします。（例：2 桁目の場合 0 と 1 をスキャン）
3. ″設定終了″をスキャンします。

バーコード種類別に挿入グループを設定

1. ″設定開始″と″文字の挿入を選択″(P18. EAN-13 など)をスキャンします。(G1 の場合 0 と 1, G2 の場合 0 と 2 を P36 付録-アスキーコードからスキャンします。)

コード ID の送信/バーコード規格の確認

ご使用のアプリケーションでバーコード規格別に ID が必要な場合、コード別 ID 送信を ON に設定して下さい。形式は ID + バーコードデータです。バーコード規格別に ID キャラクタを 1 文字変更もできます。

プリアンブル設定 （初期値：00）

付録

ポストアンブル設定 （初期値：00）

付録

G1 挿入文字設定 （初期値：00）

付録

G2 挿入文字設定 （初期値：00）

付録

設定終了

設定開始

G1 文字挿入箇所（初期値：00）

付録

G2 文字挿入箇所（初期値：00）

付録

コード別 ID 送信

ON

<OFF>

2.5 その他の設定

高精度スキャニング：1 度または 2 度スキャンするように設定してからバーコードデータを転送することができます。2 回の読み取りによりエラーを低減します。

照合チェック設定

<1 回>

2 回

設定終了

設定開始

Chap.3 バーコード規格別設定

3.1 UPC-A

UPC-A 読取

OFF

<ON>

規格別コード ID（初期値：F）

<20-7E>

UPC-A を EAN-13 に変換

OFF

<ON>

チェックデジット送信設定

OFF

<ON>

先頭が0の場合切り捨て

<OFF>

ON

先頭からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-0D>

末尾からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-0D>

文字の挿入を選択（初期値：00）

<00-02>

G1 を挿入する場合 “01”
G2 を挿入する場合 “02”
挿入しない場合は “00”

設定終了

設定開始

3.1 UPC-A

アドオン 2/5

<なし>

2 デジット

5 デジット

2 or 5 デジット

AUTO

3.2 UPC-E

UPC-E 読取

OFF

<ON>

規格別コード ID（初期値：G）

<20-7E>

UPC-E を UPC-A に変換

<OFF>

ON

チェックデジット送信

OFF

<ON>

設定終了

設定開始

先頭が0の場合切り捨て

<OFF>

ON

先頭からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-08>

末尾からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-08>

挿入文字を選択（初期値：00）

<00-02>

G1 を挿入する場合 “01”
G2 を挿入する場合 “02”
挿入しない場合は “00”

3.2 UPC-E

アドオン 2/5

<なし>

2 デジット

5 デジット

2 or 5 デジット

AUTO

設定終了

設定開始

3.3 EAN-13

EAN-13 読取

OFF

<ON>

規格別コード ID（初期値：H）

<20-7E>

チェックデジット送信

OFF

<ON>

先頭からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-0D>

末尾からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-0D>

挿入文字を選択（初期値：00）

<00-02>

G1 を挿入する場合 “01”
G2 を挿入する場合 “02”
挿入しない場合は “00”

設定終了

設定開始

アドオン 2/5

<なし>

2 デジット

5 デジット

2or 5 デジット

AUTO

ISBN/ISSN 変換

ON

<OFF>

10 桁の ISBN を読み込む場合にのみご使用ください。13 桁に変換します。
13 桁を読み込む場合は OFF を読込ください。

設定終了

設定開始

3.4 EAN-8

読取

OFF

<ON>

規格別コード ID（初期値：1）

<20-7E>

チェックデジット送信

OFF

<ON>

先頭からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-08>

末尾からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-08>

挿入文字を選択（初期値：00）

G1 を挿入する場合“01”
G2 を挿入する場合“02”
挿入しない場合は“00”

<00-02>

アドオン 2/5

<なし>

2 デジット

5 デジット

2 or 5 デジット

AUTO

設定終了

設定開始

3.5 Code 39

CODE39 読取

OFF

<ON>

規格別コード ID（初期値：J）

(20-7E)

チェックデジット検証

<OFF>

ON

チェックデジット送信

OFF

<ON>

最小読取桁数
（初期値：00）

<00-32>

最大読取桁数
（初期値：32）

<00-32>

設定終了

設定開始

3.5 Code 39

フォーマット

<標準 Code39>

フルアスキー Code39

スタートストップ文字 送信設定

<OFF>

ON

先頭からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-32>

末尾からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-32>

挿入文字を選択（初期値：00）

<00-02>

G1 を挿入する場合 “01”
G2 を挿入する場合 “02”
挿入しない場合は “00”

Code 39 連結

※先頭にスペースを含む Code39 をスキャンした時、
改行無しで出力します。

<OFF>

ON

設定終了

設定開始

3.6 Codabar・NW-7

NW-7 読取

OFF

<ON>

規格別コード ID（初期値：K）

<20-7E>

チェックデジット検証

<OFF>

ON

チェックデジット送信

OFF

<ON>

先頭からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-7E>

末尾からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-7E>

挿入文字を選択（初期値：00）

<00-02>

G1 を挿入する場合“01”
G2 を挿入する場合“02”
挿入しない場合は“00”

設定終了

設定開始

3.6 Codabar・NW-7

スタートストップキャラクタタイプ

<ABCD/ABCD>

abcd/abcd

abcd/tn*e

スタートストップキャラクタ送信設定

<OFF>

ON

最小読取桁数
(初期値：06)

<00-3C>

最大読取桁数
(初期値：50)

<00-3C>

設定終了

設定開始

3.7 Code93

CODE93 読取

OFF

<ON>

規格別コード ID（初期値：L）

<20-7E>

チェックデジット検証

OFF

<ON>

チェックデジット送信

<OFF>

ON

挿入文字を選択（初期値：00）

G1 を挿入する場合 “01”
G2 を挿入する場合 “02”
挿入しない場合は “00”

<00-02>

先頭からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-7E>

末尾からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-7E>

最小読取桁数（初期値：03）

<00-50>

最大読取桁数
（初期値：50）

<00-50>

設定終了

設定開始

3.8 Code 128

CODE128 読取

OFF

<ON>

規格別コード ID (初期値：M)

<20-7E>

チェックデジット検証

OFF

<ON>

チェックデジット送信

<OFF>

ON

先頭からの桁を切り捨て(初期値：00)

<00-7F>

末尾からの桁を切り捨て
(初期値：00)

<00-7F>

挿入文字を選択 (初期値：00)

<00-02>

G1 を挿入する場合 “01”
G2 を挿入する場合 “02”
挿入しない場合は “00”

設定終了

設定開始

最小読取桁数（初期値：03）

<00-50>

最大読取桁数
（初期値：50）

<00-50>

UPC/EAN128

<OFF>

ON

FNC1 送信

<OFF>

ON

FNC2 連結

<OFF>

ON

IATA Code 設定

<OFF>

ON

設定終了

設定開始

3.9 Interleaved 2 of 5

ITF 読取

OFF

<ON>

規格別コード ID（初期値：N）

<20-7E>

チェックデジット検証

<OFF>

ON

チェックデジット送信

<OFF>

ON

先頭からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-7E>

末尾からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-7E>

挿入文字を選択（初期値：00）

<00-02>

G1 を挿入する場合“01”
G2 を挿入する場合“02”
挿入しない場合は“00”

最小読取桁数（初期値：06）

<00-50>

最大読取桁数
（初期値：50）

<00-50>

設定終了

設定開始

3.10 Industrial 2 of 5

Industrial 2 of 5 読取

<OFF>

ON

規格別コード ID (初期値：O)

<00-7E>

チェックデジット検証

<OFF>

ON

チェックデジット送信

<OFF>

ON

先頭からの桁を切り捨て (初期値：00)

<00-32>

末尾からの桁を切り捨て (初期値：00)

<00-32>

挿入文字を選択 (初期値：00)

<00-02>

G1 を挿入する場合 “01”
G2 を挿入する場合 “02”
挿入しない場合は “00”

最小読取桁数 (初期値：06)

<00-32>

最大読取桁数
(初期値:32)

<00-32>

設定終了

設定開始

3.11 Matrix 2 of 5

読取

<OFF>

ON

規格別コード ID（初期値：P）

<20-7E>

チェックデジット検証

<OFF>

ON

チェックデジット送信

OFF

<ON>

先頭からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-50>

末尾からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-50>

挿入文字を選択（初期値：00）

<00-02>

G1 を挿入する場合 “01”
G2 を挿入する場合 “02”
挿入しない場合は “00”

最小読取桁数（初期値：06）

<00-50>

最大読取桁数
（初期値：50）

<00-50>

設定終了

設定開始

3.12 China Post Code

China Post Code 読取

<OFF>

ON

規格別コード ID (初期値：Q)

<20-7E>

チェックデジット検証

<OFF>

ON

チェックデジット送信

<OFF>

ON

先頭からの桁を切り捨て (初期値：00)

<00-50>

末尾からの桁を切り捨て (初期値：00)

<00-50>

挿入文字を選択 (初期値：00)

G1 を挿入する場合 “01”
G2 を挿入する場合 “02”
挿入しない場合は “00”

<00-02>

最小読取桁数 (初期値：06)

<00-50>

最大読取桁数
(初期値：50)

<00-50>

設定終了

設定開始

3.13 MSI / Plessey

MSI / Plessey 読取

<OFF>

ON

規格別コード ID (初期値：R)

<20-7E>

チェックデジット検証

<OFF>

MOD 10/10

MOD 10

チェックデジット送信

<ON>

OFF

先頭からの桁を切り捨て (初期値：00)

<00-3C>

末尾からの桁を切り捨て (初期値：00)

<00-3C>

挿入文字を選択 (初期値：00)

<00-02>

G1 を挿入する場合 “01”
G2 を挿入する場合 “02”
挿入しない場合は “00”

設定終了

3.13 MSI / Plessey

最小読取桁数
(初期値：06)

<00-3C>

最大読取桁数
(初期値：3C)

<00-3C>

設定開始

3.14 CODE32

CODE32 読取

<OFF>

ON

規格別コード ID (初期値：S)

<20-7F>

チェックデジット検証

<OFF>

ON

チェックデジット送信

<OFF>

ON

先頭からの桁を切り捨て (初期値：00)

<00-0A>

末尾からの桁を切り捨て (初期値：00)

<00-0A>

挿入文字を選択 (初期値：00)

<00-02>

G1 を挿入する場合 “01”
G2 を挿入する場合 “02”
挿入しない場合は “00”

イタリア医薬品用

<OFF>

ON

設定終了

設定開始

3.15 Code 11

Code 11 読取

<OFF>

ON

規格別コード ID（初期値：T）

<20-7E>

チェックデジット検証

<OFF>

ON

チェックデジット送信

<OFF>

ON

先頭からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-50>

末尾からの桁を切り捨て（初期値：00）

<00-50>

挿入文字を選択 （初期値：00）

<00-02>

G1 を挿入する場合 “01”
G2 を挿入する場合 “02”
挿入しない場合は “00”

最小読取桁数（初期値：06）

<00-50>

最大読取桁数
（初期値：50）

<00-50>

設定終了

設定開始

付録 -- アスキーコード

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

A

B

C

D

E

F

設定終了

設定開始

【アスキーテーブル】

	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	|
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

設定終了

設定開始

【ファンクションキーテーブル】
このテーブルから付加する場合、下記または P6 の“ファンクションキーエミュレーション”を”ON”にします。

	0	1
0	NULL	CTRL
1	UP	F1
2	DOWN	F2
3	LEFT	F3
4	RIGHT	F4
5	PAGE UP	F5
6	PAGE DOWN	F6
7		F7
8	BS	F8
9	TAB	F9
A		F10
B	HOME	ESC
C	END	F11
D	ENTER	F12
E	INSERT	ALT
F	DELETE	SHIFT

ファンクションエミュレーション ON

設定終了

設定開始

ファンクションキーコード
使用する前に P22“フルアスキーCode39”をスキャン、P6“ファンクションキーエミュレーション”を”ON”にします。

UP ($A)

PAGE UP ($E)

TAB ($I)

INSERT ($N)

F1 ($Q)

F5 ($U)

F9 ($Y)

DELETE ($O)

DOWN ($B)

PAGE DOWN ($F)

F10 ($Z)

ENTER ($M)

F2 ($R)

F6 ($V)

HOME ($K)

CTRL-L ($G)

LEFT ($C)

F7 ($W)

ESC (%A)

ALT-L ($J)

F3 ($S)

BS ($H)

END ($L)

RIGHT ($D)

F8 ($X)

F11 (%B)

F4 ($T)

F12 (%C)

設定終了

困ったときは

********** FAQ(設定に関するもの) **********

・自動読み取り設定（トリガーボタンを押さない）にしたい

マニュアル P10　スキャンモード選択
設定開始 → 連続読込/通電と同時に LED 点灯
→ 設定終了　の順でスキャンします。

・書籍の旧 ISBN コードを読みたい（10 桁の ISBN）

マニュアル P19　ISBN/ISSN 変換
設定開始 → ISBN/ISSN 変換 ON → 設定終了
の順でスキャンします。
※13 桁の ISBN を読む場合は無効にしてください。

・新雑誌コード（アドオン 5 桁）を読みたい

マニュアル P19　アドオン 2/5
設定開始 → AUTO → 設定終了の順でスキャンします。

・JAN コードの先頭のゼロが読み込まれない

マニュアル P15　UPC-A を EAN-13 に変換
設定開始 → UPC-A を EAN-13 に変換　ON→ 設定終了
の順でスキャンします。

・改行を変更したい

マニュアル P7　改行コード
初期設定では【CR】が入力されます。
設定開始→ （任意の改行コード） → 設定終了
の順でスキャンします。

・チェックキャラクターを送らない設定にしたい（JAN-13）

初期設定では送る設定になっています。
マニュアル P18　EAN-13 チェックデジットを送信
設定開始　→　チェックデジット送信　OFF
→　設定終了 の順でスキャンします。

・符号文字（/・=・_・0等）が正しく表示されない

マニュアル P5　キーボード言語選択
設定開始　→　日本語　→　設定終了
の順でスキャンします。

・エクセルで正しく表示できない
（・・E+12 と表示される）
エクセルのデータ入力設定によるものです。
1．「EXCEL」のツールバーから
「書式（O)」＞「セル（E)」を選択して開きます。
またはセルを右クリックして「セルの書式設定」を開きます。
2．ダイアログ「セルの書式設定」のタブ「書式設定」のリストから「文字列」を選択して「OK」をクリックします。
3．書式設定を行ったセルでバーコード入力するとデータ通りに表示されます。
設定を行ったセルのみに反映されます。
他のセルにも入力する場合はドラッグして設定セルを拡張してください。

・誤読する
マニュアル P14 の照合チェック設定を 1 回→2 回に変更して下さい。
設定開始→照合チェック設定 2 回→設定終了

・途中の桁が抜けたり、後半の桁が抜けたりする
入力が速すぎることが考えられます。
マニュアル P7　文字間遅延
設定開始　→　文字間遅延　→　10（20・50）msec　→　設定終了
の順でスキャンします。

・バーコードの最後の一文字を消したい
【例：1 桁削除の場合】
バーコード規格別の設定項目にある
先頭からの桁を切り捨て・末尾からの桁を切り捨て
設定開始→先頭・末尾の桁を切り捨て→P36　0
→　1　→　設定終了
の順でスキャンします。

******** FAQ（ハードウェアに関するもの）********

・バーコードリーダーが認識されない

Windows では、バーコードリーダーは、**HID キーボード**として認識され動作します。
デバイスマネージャー～キーボードの項目を確認し正常に認識されているかご確認ください。
異常が出ている場合は別の USB ポートに変更するか、バーコードリーダーを接続したまま Windows を再起動してください。

・読み込みが不安定

1. マニュアル P5
   設定開始 → デフォルトに戻す → 設定終了・・・の順でスキャンし、設定を初期化してください。
2. USB 接続の場合は使用する USB ポートを変えてお試しください。
3. USB ハブをご使用の場合は直接 PC と接続してお試しください。
4. バーコードの印刷状態が悪い場合は読み込みが著しく悪くなります。
5. 実際に読み取るコードのみ読み取り可能にしてその他のコードを読み取りできない設定にすると読み取り速度が上がります。

・バーコードが読めない

読み取り操作を確認してください。
バーコードから離しすぎると読み取れません。

・スキャンはできるがデータが表示されない

1. インターフェース設定が変更された可能性があります。

【USB でお使いの場合】
マニュアル P5 [設定開始]～[USB]～[設定終了] をスキャンしてください。

2．印刷精度の問題
（コードににじみ・ムラ等がないかご確認ください）
3．バーコードリーダーの性能の限界
非常に微細なコード（マイクロバーコード）は読めない場合があります。
ドットインパクトプリンタ・インクジェットで印刷されたバーコードは不明瞭なことが多く、読めない場合があります。
4．バーコードの印刷色・下地の色による問題
印刷色によっては読み取りにくい場合があります。
（青/赤/緑/銀など）
バーコードの両脇に黒い枠線などがあると、
読み取りにくい場合があります。
5.もし読めないバーコードがございましたら、PDF にてメールまたは、郵送でお送りいただければ検証させていただきます。(メール support@fksystem.com)

・RS232C 接続で文字が表示されない。

1,RS232C 接続はシリアル通信のため、通常のメモ帳やエクセルでは表示されません。シリアル通信するためのプログラムが必要となります。

2,マニュアル P5 インターフェース選択を RS232C 接続にしてください。
設定開始→RS232C→設定終了

3,RS232C の設定及び COM ポート番号をご使用になるプログラムと照らしあわせてください。
設定はマニュアル P8 からデフォルト値をご確認ください。
COMポード番号はwindowsのデバイスマネージャをご確認ください。

4,windows 以外のご使用は保証対象外です。
（シーケンサー等）

製品保証規定

この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取扱説明書等に従って正常な使用をしていたにもかかわらず製品故障が発生した場合に、製品の無償修理をお約束するものです。

◆ 保証期間内の無償修理は、故障製品を当社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。製品保証書に記載された宛先まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。

◆ 故障・不良にかかわらず修理の際に代替機の貸し出しは一切行っておりません。

◆ 保証期間内であっても次の項目に該当する場合は無償修理の範囲外とさせていただきます。
（ただし、無償修理の範囲外であっても有料での修理または代替品への交換・サービス等はご利用いただけます）

1, 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2, お買い上げ後の輸送、移動、落下等によって生じた故障および損傷
3, 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧等の外部要因によって生じた故障および損傷
4, 車両船舶等に搭載されたことによって生じた故障および損傷
5, 経年劣化によるもの、または消耗品の交換
6, 製品保証書の提示がない場合
7, 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合

修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は当社に帰属するものとします。

製品保証書

この製品保証書は、エフケイシステムが定める製品保証規定に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

保証期間 ： ご購入日より1年間

製品名	
S/N	
購入日	
使用 OS	
PC 機種名	
不具合症状	
購入店	
販売元	

株式会社 エフケイシステム

〒462-0063 名古屋市北区丸新町 212

TEL:052-909-7460 FAX:052-909-7461

サポート窓口:support@fksystem.com

TSK-e / TS-5300 / KS-5300 共通設定

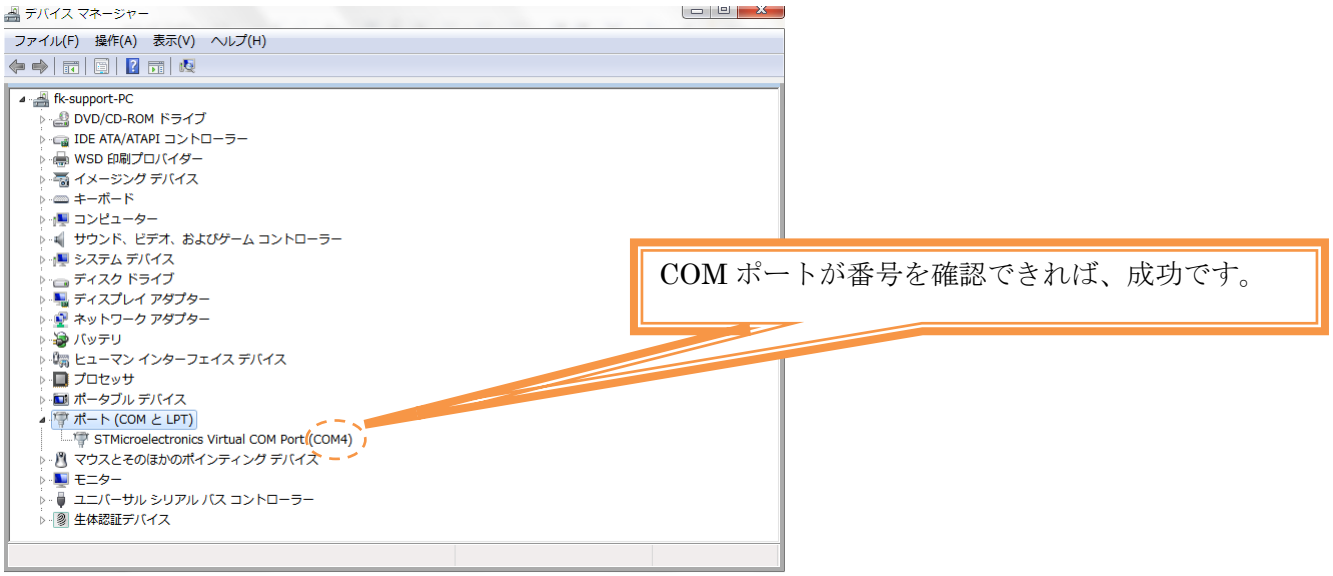
USBCOM 設定

以下のバーコードを上から順番にスキャンしてください。(途中の 2 択は USB-COM を選択してください。)

設定開始

USB 接続	USB-COM 接続 (仮想 COM)

設定終了

※設定したあとはドライバが必要になります。
Windows 7 をご使用の場合は"win7"フォルダ内のドライバをご使用ください。
32bit の場合、dpinst_x86.exe、
64bit の場合、dpinst_amd64.exe
以上をご使用ください。
Windows 8 をご使用の場合は"win8"フォルダ内のドライバをご使用ください。
32bit の場合、dpinst_x86.exe、
64bit の場合、dpinst_amd64.exe
以上をご使用ください。

インストールが終わりましたら、COM ポートが割り振られます。
確認方法は"デバイスマネージャ"の"ポート"をご覧ください。
デバイスマネージャ確認方法
Windows7 の場合
[コンピューター]⇒右クリック⇒プロパティ⇒デバイスマネージャをクリック
WindowsXP の場合
[マイコンピューター]⇒右クリック⇒プロパティ⇒ハードウェアタブ⇒デバイスマネージャをクリック